



注目ポイント

- 2017年の米国景気は緩やかな拡大が期待されており、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げは、年2回程度を見込んでいます。
- 堅調な米国経済を背景に米国ハイイールド債市場も緩やかな上昇の継続が期待されます。

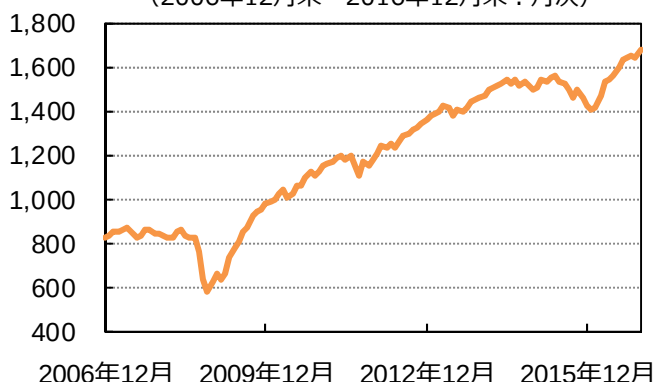
1. 2016年の米国ハイイールド債市場の振り返り

米国ハイイールド債市場は上昇しました。

米国ハイイールド債市場は、2月半ばにかけて資源価格の下落などを背景に、対米国国債スプレッドの拡大を伴いながら下落しましたが、その後は資源価格の持ち直しや世界的な低金利環境が継続する中、利回りを求める投資家需要などを背景に上昇しました。

【米国ハイイールド債のトータルリターン推移】

（2006年12月末～2016年12月末：月次）



【米国ハイイールド債の対米国国債スプレッド：OAS*】

（2006年12月末～2016年12月末：月次）



出所：BofAメリルリンチ（使用許諾済）が提供するデータを基にアセットマネジメントOneが作成。

※米国ハイイールド債は、BofAメリルリンチ・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス

* OASとは、オプション・アジャステッド・スプレッドの略。繰上償還を考慮した米国国債との利回り格差のこと。BofAメリルリンチが独自に開発した手法に基づき算出した値。

※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。

2. 2017年の米国ハイイールド債市場の見通し

2017年の米国景気は、緩やかな拡大が継続するとみており、トランプ次期大統領（1月20日就任）が掲げる成長促進策がどこまで議会で承認を受けて、実行に移されるか注目されます。

米国ハイイールド債発行企業のファンダメンタルズをみると、デフォルト（債務不履行）率は、エネルギーや金属鉱山セクターなどで高水準が続いてきましたが、石油輸出国機構（OPEC）総会での減産合意など、市場環境の好転に伴い、2017年は低下が見込まれています。

米国で減税やインフラ投資などの財政出動策が動き始めるのは、2017年秋口以降とみていることから、FRBによる金融政策については、2017年の利上げペースも0.25%の小幅な利上げが年2回程度の緩やかなものになると考えています。

ハイイールド債市場については、現在の対米国国債スプレッドの水準に鑑みると、これまでのような上昇ペースは望みにくい環境ではあるものの、利回りを求める投資家からの資金流入等が下支えする形で、緩やかながらも上昇傾向が継続すると見込んでいます。

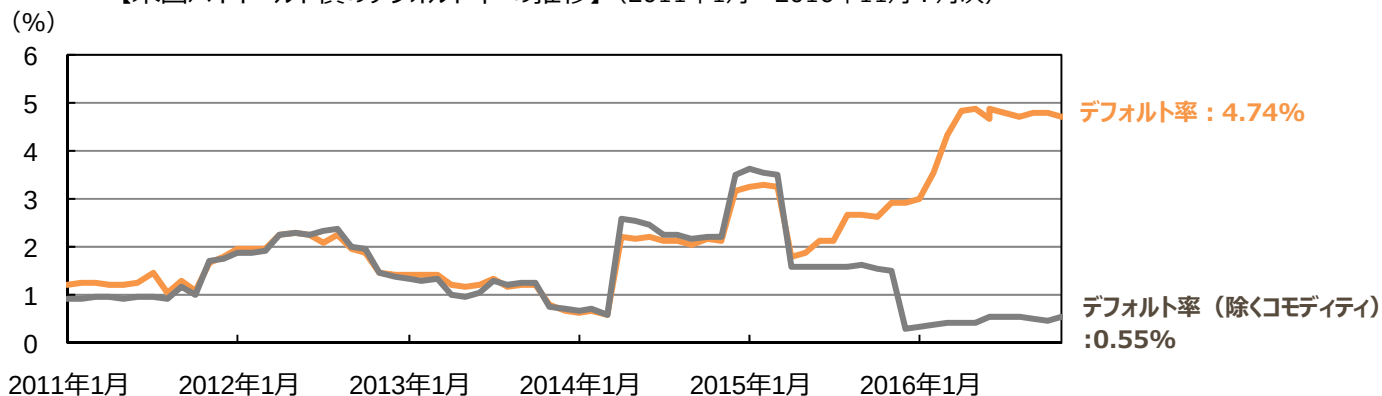
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

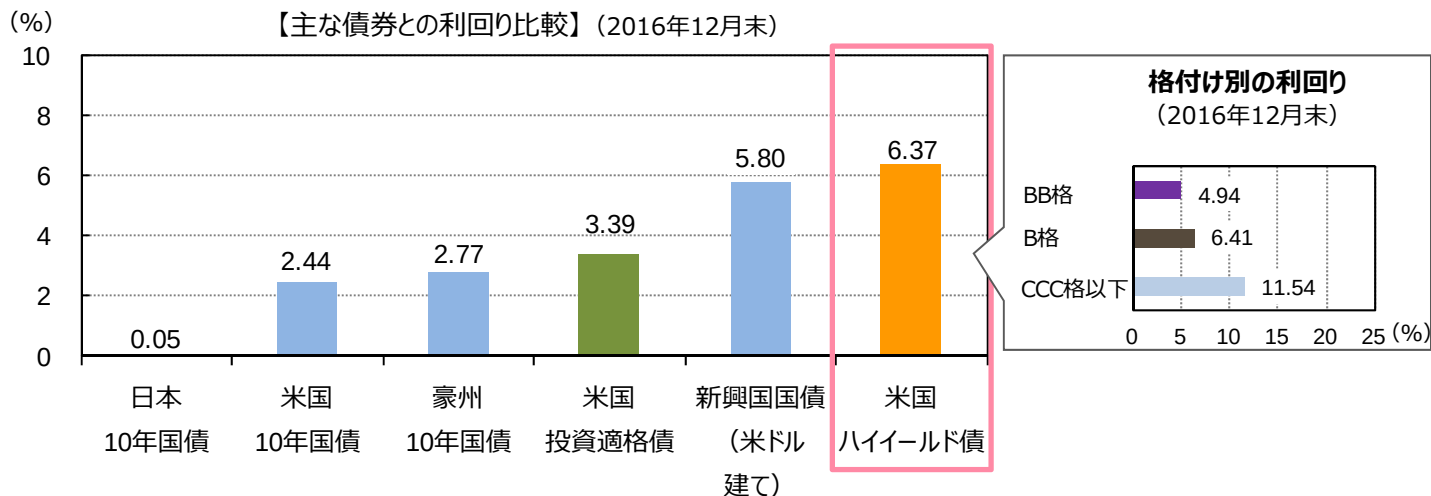
商号等 / アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会 / 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【米国ハイールド債のデフォルト率*の推移】(2011年1月～2016年11月：月次)



*デフォルト率は過去12か月間に米国ハイールド債市場においてデフォルトした銘柄の割合を金額ベースで算出したもの。
 ※デフォルト率には、経営破綻や財務内容の悪化で経営が行きづまり不良債権に分類された企業が発行する債券も含む。

【主な債券との利回り比較】(2016年12月末)

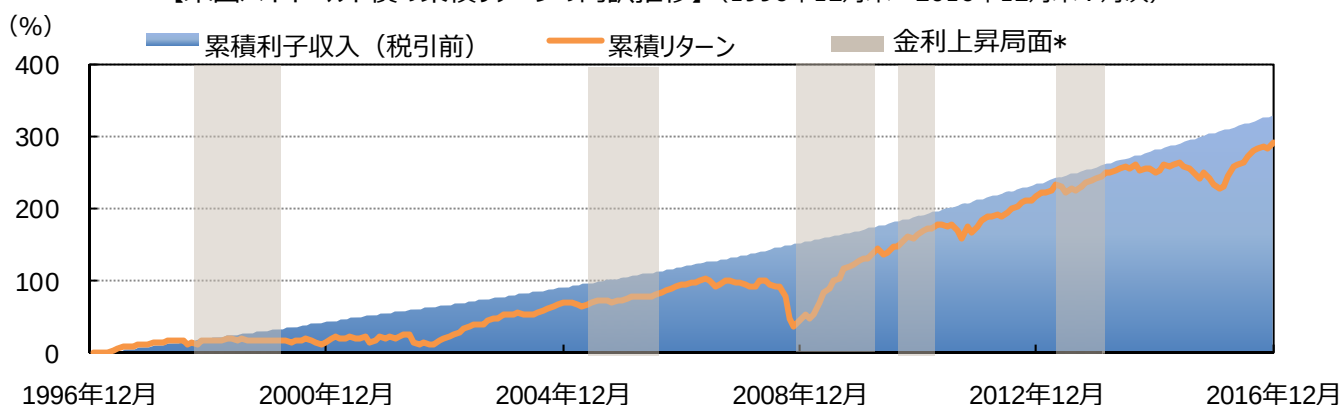


※上記の各利回りは、指数に基づきます。償還年限や格付けは異なりますので、一概には比較できません。

(ご参考) 金利上昇局面での強さ

過去の金利と米国ハイールド債の推移をみると、米国10年国債利回りが上昇する局面では米国ハイールド債がプラスのリターンを上げる傾向にあることがわかります。また、米国ハイールド債の高い利子収入は、債券価格の下落局面においてもパフォーマンスの下支えとなります。

【米国ハイールド債の累積リターンの内訳推移】(1996年12月末～2016年12月末：月次)



*1%以上の金利上昇局面を抽出

※「累積利子収入（税引前）」は、「累積リターン」の変動要因の1つです。「累積利子収入（税引前）」は、BofAメリルリンチ・US・キャッシュ・ペイ・ハイールド・インデックスの月間変化率を1996年12月末を起点に「価格変動」と「利子収入」に分解し、そのうち「利子収入」の変化率を月次ベースで累積したものです。

出所：BofAメリルリンチ（使用許諾済）、JPモルガンおよびブルームバーグが提供するデータを基にアセットマネジメントOneが作成。

※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

〔ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。〕

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料： 上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に關してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料で使用了市場インデックス

- 米国ハイイールド債：BofA Merrill Lynch・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス
- 米国投資適格債：BofA Merrill Lynch・US・コーポレート・インデックス
- BB格：BofA Merrill Lynch・BB・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス
- B格：BofA Merrill Lynch・シングルB・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス
- CCC格以下：BofA Merrill Lynch・CCC&Lower・US・ハイイールド・インデックス
- 新興国国債（米ドル建て）：JP Morgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド

・BofA Merrill Lynchは同社の配信するインデックスデータを現状有姿のものとして提供し、関連データを含めて、その適合性、品質、正確性、適時性、完全性を保証せず、またその使用においていかなる責任も負いません。またアセットマネジメントOne(株)およびそのサービスや商品について、推奨、後援、保証するものではありません。

・JP Morgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイドは、JP Morgan社が公表している指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はJP Morgan社に帰属します。またJP Morgan社は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。